粟島浦小中学校だより　令和７年10月29日　第８号

日本海を越えていく

風が吹けば桶屋がもうかる～つながりの不思議～

校長 沼崎 幸治

秋も一段と深まり、澄んだ空気とともに粟島の自然が美しく色づく季節となりました。村民運動会や祭礼など、島ならではの行事を通して、子どもたちは地域の皆さんとふれあいながら、心も体も大きく成長しています。伝統を受け継ぎ、地域に育てられていることへの感謝の気持ちを胸に、学校生活にも一層の意欲を見せてくれています。

【以下、10月の全校集会での講話から】

「風が吹けば桶屋がもうかる」ということわざを聞いたことがありますか？

江戸時代に生まれたことわざで「ある出来事が次から次へと予期せぬ影響を及ぼし、思いもよらないところにまで結果が波及すること」を意味します。

なぜ、風が吹くと、桶屋がもうかるのでしょうか・・・・・・？

風が砂埃を巻き上げ、それが目に入って失明する人が増えると、目を病んで三味線弾きになる人が増え、三味線に使う猫の皮の需要が高まり猫が減る。すると猫を捕食するネズミが増え、ネズミが桶をかじることで桶の修理や販売が増え、桶屋が儲かるという一連の連鎖が元となっています。（あくまで江戸時代の話です。）

昨今、クマによる被害がニュース等で報道され社会問題とされています。これもたどっていけば、クマが大量出没する本当の理由は、餌不足だけではなく、「秋の木の実の不作」に加えて「耕作放棄地・放置果樹園」や「人間が残した食べ物」といった人間由来の餌の存在、そして「中山間地域の過疎化・高齢化による里山環境の変化」、「気候変動による影響」、さらに「クマの保護政策による生息数の増加」などが複合的に影響しています。

さて、これらの話から「つながりを考える力」の大切さを理解してほしいと思います。「なんで？」と考えることが、学ぶ力の第一歩。目に見えることだけではなく、その裏にある原因やつながりを考えると、世界の見え方が変わります。

〇「知ること」は「つながりを見つけること」。
〇勉強はただ覚えるだけじゃなく、「なぜ？」「どうして？」を考えることが大事。
〇みんなの毎日の「気づき」が、未来を変える力になる。

気づきは学びの入口です。自然の中で、地域の中で、そして教室の中で、子どもたちは日々たくさんの気づきを得ています。その一つひとつを大切にし、授業の中で深く考え、つなげていくことで、子どもたちは自らの力で学びを築いていきます。私たち教職員も、地域の皆様とともに、その歩みを支えてまいります。

研究授業において

１０月１７日（金）に　　教諭による研究授業が行われました。当校の研究主題は

自ら進んで学習する子どもを育成するための授業の在り方
～振り返り、改善する力を発揮する姿を目指して～

です。下越教育事務所　　指導主事を招いて、小学１，２年生の生活の題材「見つけた　あきで　あそぼう」で上記の姿を目指して授業を行いました。

前の授業で、秋のおもちゃ（どんぐりで作った「やじろべえ」と「こま」、松ぼっくりで作った「けん玉」）を作り、自分で作ったものと見本を比べて、「秋のおもちゃマスター」になる方法を、友達と話し合いながら考える授業を行いました。自作と見本を比べる際は、観察する（カンサツール：この時間で児童が考えた名前）というスキルを使って、話し合いながら考えることができました。

振り返りと改善は、どちらも重要なキーワードになります。児童生徒が、振り返り、改善をして成長できるように、授業だけでなく、行事などの活動でも大切にしていきたいと思います。

文化祭練習がスタートしています

１１月１日（土）の文化祭に向けて、練習が行われています。スローガンは、

All Stars,One Stage
～あたたかな歓迎で心に残る感動を～

スローガン達成に向けて、児童生徒は頑張っています。ぜひ、その姿を会場で御覧ください。作品も力作揃いです。お楽しみください。

10 月の一コマ

中学２．３年生。10 月 12 日の米粉フェスタにて。アイドル「courtesea」と一緒に。

小学生。10 月 7 日のプロレス体験にて。新潟プロレスのみなさんと一緒に。

11月の予定

1日(土)　文化祭(4日(水)振替休業日)	17日(月)　2学期期末テスト(～18日(火))
5日(水)　専門委員会	19日(水)　専門委員会
6日(木)　実力テスト(中3)	21日(金)　児童生徒集会
14日(金)　わかめ巻き	